

令和4年度滋賀県希望が丘文化公園活性化等検討懇話会第1回会議 議事概要

- 1 日時 令和4年7月21日(木) 15:30~16:45
- 2 場所 滋賀県立青少年宿泊研修所 211 研修室
- 3 出席者 委員：荒川委員、辻委員、松永委員、丸山委員、山本委員
事務局：目片文化芸術振興課長、永井参事、宮腰係長、平井主査
- 4 議題
 - (1) 滋賀県希望が丘文化公園活性化方針(骨子案)について
 - (2) 今後のスケジュール

5 会議概要 以下のとおり

	<p><座長の選出について></p> <ul style="list-style-type: none">・委員の互選により座長を選任。 <p><議題></p> <ol style="list-style-type: none">(1) 滋賀県希望が丘文化公園活性化方針(骨子案)について<ul style="list-style-type: none">・事務局から説明(2) 今後のスケジュール<ul style="list-style-type: none">・事務局から説明
委員	東西のアクセスが限定されているということだが、電動自転車の貸出利用はできるのか。
事務局	電動自転車は準備しておらず、貸出利用はできない。
委員	一般車両を通して道を整備するということであるが、電動自転車があれば移動手段になるのではないか。
事務局	公園内を楽しむための手段としては、自転車やセグウェイなどのご意見はいただいております、電動自転車もその一つとなると思う。ファミリーなどの移動手段としては可能だが、一定規模の団体の移動手段としては難しいと考えている。

座 長	<p>サイクルパークのように、様々な自転車があり、親子連れで遊びに来た方が利用する場合は、電動自転車などの利用も考えられるが、スポーツ宿泊に来た方がゾーン間の移動手段として電動自転車を利用するのは、少し難しいと思う。</p>
委 員	<p>今回、会議の前に視察をさせていただき、当公園を初めて見た。まず、滋賀県希望が丘文化公園という名称の「文化」という点が気になった。資料の中の目指すべき公園の姿に「文化」の視点が無いことに疑問を感じ、公園の名称と目指している姿に違和感がある。同時に、プロモーションの観点からも、名称だけではこれだけスポーツ施設が充実していることは伝わりにくく、SNSでの検索では引っかからないと思う。京都府立の山城総合運動公園はサブネーミングである「太陽が丘」の知名度が高い。滋賀県での国民スポーツ大会で知名度を上げるために、当公園の魅力が伝わるキャッチコピーやサブネーミングが必要ではないかと思う。スポーツを全面に出したいのであれば、サブネーミングをそのイメージが伝わるものにする必要がある。また、スポーツも重要ではあるが、その前にもっと「健康」が全面に出てきて良いのではないかと思う。</p> <p>さらに、これからは施設のあり方として障害者はもちろん LGBTQ などのダイバーシティ（多様性）への対応が必要になってくると思う。その点については、公共施設での対応はまだまだ難しく、宿泊プログラム自体を減らしていくという傾向もあり、その上にコロナの影響が出ていると認識している。オールジェンダートイレや更衣室など、現在の課題解決策を取り込むとかなり壮大な改修となる。キャンプ場はまだしも、青年の城はユニバーサルデザインだけでも対応が大変だと思われるが、それ以外に LGBTQ への対応となると厳しいと思う。</p> <p>さらに、アーバンスポーツであれば、隣の竜王町でクライミング施設があるならば、それとの住み分けも考える必要はあるが、クライミング施設も入れておくことも検討してはどうか。クライミングは人気が高い施設で行列もできる。県内でも施設が少ないため、公園から竜王町の施設へ誘導することで相乗効果も期待できる。</p>
委 員	<p>公園の名称については、過去の懇話会でも意見が出ており、公園の基本計画においても新たな名称のあり方についても検討することとなっている。</p>
委 員	<p>無理にすべてのキーワードを名称に盛り込む必要はないが、例えば、京</p>

	<p>都府城陽市に京都府立木津川運動公園があり、愛称を考えた際に「五里」というキーワードがあったため、そこから「五里五里（ごりごり）の丘」というアイデアが出てきた。若者が SNS で発信しやすく、みんなに愛される愛称はとても重要だと思う。</p>
座 長	<p>当公園においてもサブネーミングの名称を募集されると良いと思う。建物のユニバーサルデザインへの対応についても、大変だからやらないではなく、率先して取り組むことで価値が出てくる。当公園が LGBTQ や障害者に対応している施設として PR することも重要ではないかと思う。</p>
委 員	<p>先ほどの「健康が前面に出てきても良いのではないか？」という自身の発言に付け加えると「ウェルビーイング (well - being)」という言葉がスポーツ庁も推進しており、包含される要素が多くて良いかもしれない。ただ、最近のトレンドとなっており、「またか」と思われる可能性もある。</p>
座 長	<p>アーバンスポーツについても、今、流行っているからと言って、今後も流行るとは限らない。10年後に何が流行っているかを見極める必要がある。</p>
委 員	<p>10年後の未来を考えた時に、誰のニーズを満たすべきかという点が重要となる。この骨子案は「みんな」が対象となっているが、県内の人のニーズか、県外から人を引っ張ってくるのかによってアプローチが変わる。</p> <p>活性化には、30分程度の移動時間にある人たちのニーズを満たすこと、機能が混在していること、県民が主体的にかかわることができる仕組みの3つが必要となるはずである。ある民間企業では、コロナ前までは「他地域から人を引っ張ってくる」ことを前提にしていたが、コロナ禍以降、「他地域から人を引っ張ってくる」ということがすごく難しいことだとわかったため、「地元のニーズをいかに満たすか」という視点に切り替えたと聞いている。</p> <p>満たすべきニーズによって機能の配置も変わる。例えば、地元の利用者を想定したアーバンスポーツは、かっこいいことを好むため、現在のような西第2駐車場のよう公園の端に作るのではなく、スポーツゾーンの中央に持ってくる方が良いと思う。また、スポーツで他地域から人を引っ張ってくることを目指すならば、例えば岩手県紫波郡紫波町のオガール（バレーボール専用体育館）のように他にはない本物の施設を造らないといけ</p>

	<p>ない。</p> <p>自治体のこのような活性化事業において、よく勘違いされることとしては、民間に任せることでコストが下がるという認識を持たれるが、これまでの施設を同様に維持する場合は、コストは下がらない。コストの問題ではなく、質が良くなると考えた方が良いと思う。</p> <p>また、10年後の未来と言ったが、それは誰にもわからないため、これからの施設のあり方として、一度に全てを作らない、作り込まないということが必要となると思う。少しずつ作り、変化に対応することが重要となる。</p> <p>また、キャッチーなキーワードは重要。先ほどご意見で出てきた「ウェルビーイング」や「DX」、「グリーン」のキーワードはすぐにはなくならないと考えている。これらを掲げることも良いが、掲げるならば高度に考え方を取り込まないと意味がないと思う。覚悟が必要だと思う。</p> <p>単純に何か1つ新しいものを作るのではなく、様々なものを掛け合わせていく発想が必要となる。</p>
委員	<p>改修されたスポーツ施設を活用すれば、スポーツ大会の誘致が可能だと思う。なでしこサッカーや全国中学校駅伝など、全国大会を当公園で実施されており、これはぜひ継続して欲しい。移動手段については、ゴルフカートでの移動も考えられる。野外活動ゾーンおよび文化ゾーンについては、縮小してもキャンプが楽しめるようなゾーンになればと思う。</p>
座長	<p>駐車場料金については1回500円となっており、一日遊ぶことができれば500円でも良いが、数時間の利用の場合に500円では利用者として支払うのがもったいないと考えてしまう。道の駅など様々なサービスを組み合わせることで、駐車料金を取らずに済むようにできれば良いと思う。</p>
委員	<p>運営の工夫で、駐車料金を取らないとすることも良いのではないかと。また、実際に走らすことができる自動運転の場所としては良いと思う。</p>
座長	<p>ツーリズムの視点が入っても良いと感じた。豊かな自然を生かしたネイチャーツーリズムもできるのではないかと。野外活動ゾーンも単に自然を楽しむゾーンとすれば、それほど大きな改修は不要ではないか。公共事業の場合は、当初の計画どおりに作っていくため、状況に応じて修正するという事は難しく、できた時には既に古くなっていることが多い。</p>

委員	<p>立派な施設は必要ない。例えば、グランピング施設は償却期間の比較的短い施設である。行政側で変に作り込むと民間企業はうまく活用できない。この部分はまさに民間活用に委ねる範囲となると思う。20~30年維持できると考えない方がよい。ある有名温泉地の施設では、5年でリノベーションするとオーナーから聞いた。デザイン、雰囲気には人は集まってくる。施設の堅牢さでは人は来ない。ハードに頼らない公園の活性化も必要となる。</p>
委員	<p>芝生ランドと多目的広場の景色は圧倒的だと感じた。芝生ランドはサッカーコートとしての利用もでき、多目的広場はインスタ映えする景色だが、西側からそこまでの交通手段がない。そこを見てもらうための動線を確保することが重要となる。また、作り込まずに安全に楽しくキャンプができる場所が必要である。</p>
委員	<p>西（野洲市）側から野外活動ゾーンに行きたいが移動手段がない。野外活動ゾーンは一人でふらっと行き、一人でキャンプをして帰るという使い方がよいと考えている。豊かな自然に触れることができる場所として、もっと知ってもらいたい。</p> <p style="text-align: right;">（ 以 上 ）</p>